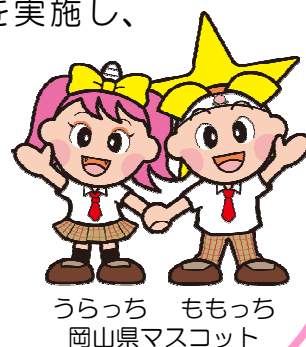


中学校英語 4技能をバランスよく育成するために



岡山県教育庁義務教育課
平成30年3月

本指導資料では、上記の調査結果・分析を基に、県内における中学生の英語力についての課題や指導のポイント等を新学習指導要領の内容も踏まえて示しています。生徒に4技能をバランスよく身に付けさせる授業を作り上げていくために御活用ください。



目次

I. 4技能共通の指導のポイント 【 P.2 】

① 豊かな表現方法を身に付けさせましょう
② 4技能を統合した授業を行いましょう

II. 4技能（5領域）別の指導のポイント 【 P.3～P.13 】

① Listening ③ Reading
② Speaking【やり取り】 【発表】 ④ Writing

III. 4技能をバランスよく育むための、
単元におけるCAN-DOリストの設定事例 【 P.14 】

I. 4技能共通の指導のポイント

① 豊かな表現方法を身に付けさせましょう

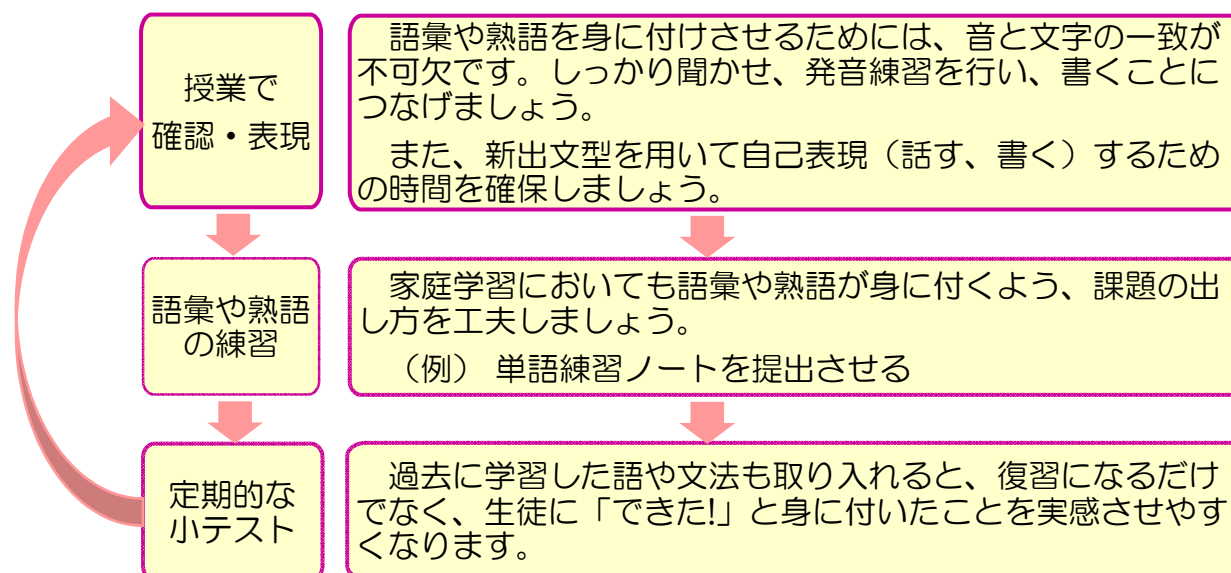
4技能を指導する上で、語彙や文法事項を確実に身に付けさせ、表現方法を豊かにさせる必要があります。その後、それぞれの技能において活用させましょう。

⇒ 4技能（5領域）別の指導のポイントは P.3～P.13 参照



語彙や熟語、文法事項を身に付けさせる

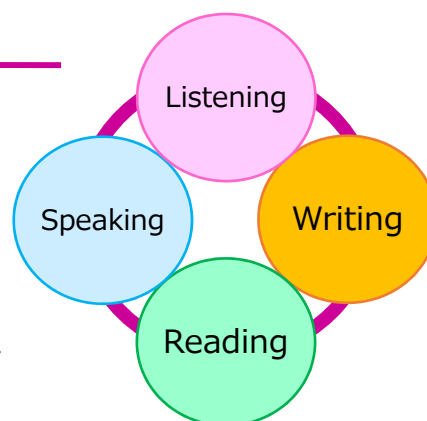
生徒が伝えたいことの幅を広げ、表現力を高めるため、語彙や熟語を増やし、文法事項を確実に身に付けさせましょう。



② 4技能を統合した授業を行いましょう

各学校において、「学習到達目標」がCAN-DOリストの形で技能ごとに設定されており、4技能をバランスよく育成するとともに、それらの技能を実際のコミュニケーションで活用できるよう、4技能を統合した授業を行う必要があります。

次ページより、技能別の指導のポイントをまとめていますが、それぞれの技能を単独で身に付けさせるのではなく、他技能と関連付けた指導を行い、さらなる英語力向上を図りましょう。



Ⅱ. 4技能（5領域）別の指導のポイント

① Listening

Listeningでは、正確な聞き取りだけでなく、全体の概要をつかむ力や必要な情報を聞き分ける力が求められます。



概要や要点等を聞き取らせる

まずは教科書の本文をCDで聞かせるなど、生徒の身近にある音源を使用しましょう。その後、日常的な話題について必要な情報を聞き取ったり、話の概要を捉えたりすることができる力を身に付けさせましょう。メモを取りながら聞くことを生徒に示すことも大切です。

教科書
本文を聞く

新しいページに入るときは、内容に関する簡単な問いを設定し、その答えを意識して聞かせるなど、まとまりのある英文を聞く機会を設定しましょう。本文を見ながら聞くことも重要です。

日常的な
話題を聞く

必要な情報を聞き取ることができる力を身に付けさせましょう。
（例）待ち合わせの場所、天気予報、店内・機内アナウンス等

話の概要を捉えることができる力を身に付けさせましょう。
（例）最も思い出に残っている学校行事、ALTの故郷等

社会的な
話題を聞く

短い説明を聞き、要点を捉えることができる力を身に付けさせましょう。
（例）「地球温暖化の防止」をテーマとした講演など

調査結果を
基にした
指導改善の
ポイント

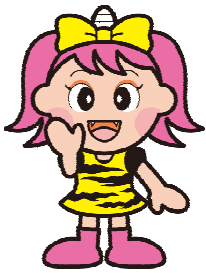
Point 1：ALT等との対話の時間を大切にしましょう！

GTECの調査では、基本的な語句を聞き分ける力に課題があることが分かりました。ネイティブの発音に触れる活動を増やすことで、更なる定着が図られると考えられます。授業外にもALTや留学生との交流機会を設けるなど、英語に触れる機会を増やしましょう。

Point 2：全体の概要をつかむ力や、必要な情報を聞き分ける力を身に付けさせましょう！

語句単位での断片的な理解はできていますが、英文全体や文脈で意味を理解することに課題があります。教科書のセクションごとの聞き取りだけでなく、まとまりのある英文を通して聞くような機会を設定しましょう。また、聞いた後で内容に関する TorF や Q&A を行い、生徒がどれくらい概要がつかめたか確認することも大切です。

必要な情報を聞き分けるためには、全ての内容を聞き取ろうとするのではなく、聞く場面や状況から判断し、求められている情報を把握できることが大切です。そのため、聞く目的を持って活動できるよう、事前に聞くポイントを示すことも重要です。



Point 3：技能を統合した授業を行いましょう！

聞いて理解したことを基に、話す活動や、聞いたことの概要を書きまとめる活動を取り入れ、技能を統合させる授業を行いましょう。

例えば、友達の発表を聞いて、その内容や感想等を英語で記述することで、書く活動につながります。さらにそれを発表者に返すことで、発表者にとっては読む活動にもつながります。

GTEC における Listening の問題【18分】

☆ Part A から Part D まで4分野4種類の問題が出題される。

☆ スクリプトの放送はいずれのパートも1回のみ。

【Part A】写真・イラスト説明問題（＝基本的な語句を聞き分ける力）

- ・複数の英文を聞き、その中から写真やイラストと合う英文を選択する問題で、単文レベルの英文を聞き分けられる力を測定

【Part B】会話応答問題（＝会話応答の力）

- ・英語での問いかけに対し、複数の応答英文から最も適当なものを選択できる力を測定

【Part C】課題解決問題（＝英語での指示を実行する力）

- ・生徒が現実体験する場面が設定されており、その場面で他人から指示されたことを正しく理解して実行できる力を測定

【Part D】要点理解問題（＝少し長めの文章を聞く力）

- ・少し長めの会話や話を聞き、その内容にかかわる問いに答える問題で、一定以上の長さの英文を正確に聞き取る力を測定

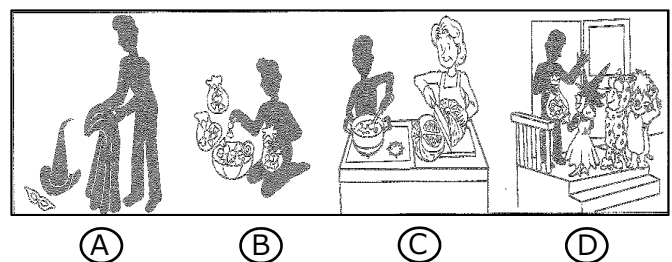
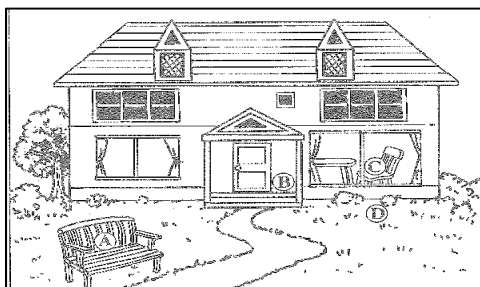
出題例【Part C】課題解決問題

ベネッセコーポレーション GTECトライアルテストより

このパートには、ある1つの場面とそれに関する問題が2つあります。状況を説明する日本語に続き、イラストを見ながら英語の会話文を聞きなさい。あなたは、その場面の日本人学生になったつもりで、質問に対する最も適当な答えを選択肢【A】～【D】の中から1つ選びなさい。英文は1回だけ読めます。

あなたはアメリカに留学しています。ホストシスターとハロウィーンの準備をしているところです。

まず、あなたから話しかけます。（注）スクリプトの M = Male「男性」の略 F = Female「女性」の略



スクリプト

M : Should I put the pumpkin by the door or on the bench?

F : Well, I'll put a candle in it, so put it on the chair by the window.

M : OK.

1. あなたは、どこにかぼちゃを置くか。

- 【A】 (A)
【B】 (B)
【C】 (C)
【D】 (D)

スクリプト

M : Let's wear clothes for Halloween.

F : Yes, but before that, please put some candy in the bags for children. I'll help my mother cook.

M : Sure.

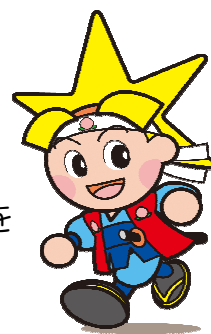
2. あなたは、まず何をするか。

- 【A】 (A)
【B】 (B)
【C】 (C)
【D】 (D)

② Speaking【やり取り】【発表】

Speakingでは、身に付けた語彙や文法を活用して、相手と【やり取り】したり、【発表】したりする力が求められます。まずは教科書本文を繰り返し丁寧に扱い、基本的な強勢、イントネーションを正しく身に付けさせたり、教科書本文に関するQ&Aを実施し、その答えを発表することなどを通し、少しずつ人前で英語で発表することに慣れさせ、実際のやり取りにおいて活用できるようにしましょう。

また、多くの語句に加え、発話のための表現力も身に付けることが求められるため、帯学習などで繰り返し、Speakingのための練習を取り入れましょう。



簡単な語彙や文を用いて、意見や考えをやり取りさせる

まずは文法の細かい間違いにとらわれすぎず、自分の伝えたい内容を相手に伝えることから始め、その後、やり取りを継続・発展させ、内容を深めさせましょう。

週末の予定、よく見るTV番組、スポーツ、音楽等、生徒にとって興味・関心のある話題を取り上げるなど、話したくなる工夫をすることも大切です。

メモを
もとに
【やり取り】

話すことに慣れさせるため、あらかじめテーマを決めて、事前に話す内容について準備させましょう。

(例) 自分の考えや必要な単語などをまとめたメモを準備

即興で
【やり取り】

話すための原稿を準備せず、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う力を身に付けさせましょう。

(例) 学校行事、TV番組等

【やり取り】
の展開

自分の考えや気持ちなどをまとめて伝え、その内容に対する質問に応答できる力を身に付けさせましょう。

(例) 自分や家族のこと、興味のあること等

聞いたり読んだりして得た共通の話題について、お互いに質問したり、考えや感想、理由などを交換できる力を身に付けさせましょう。

(例) 新聞記事やニュース等の文字媒体や音声媒体を活用等

Speaking
【やり取り】
指導改善の
ポイント

Point 1：様々な人とやり取りさせましょう！

様々な人とやり取りする中で、語彙や表現方法だけでなく、その人の考えや興味関心のあることを知ることができ、他者理解にもつながります。生徒同士での言語活動だけでなく、ALTや英語担当教員との対話も充分取り入れましょう。

Point 2：実際のコミュニケーションを意識させましょう！

実際のコミュニケーションを意識したやり取りを行うためには、関心のあるテーマを設定し、ある程度限られた時間内にやり取りができるよう練習させましょう。

また、より自然な会話になるよう、表情を意識し、ジェスチャーや相づち等を用いて、会話を継続させたり発展させたりするよう指導しましょう。

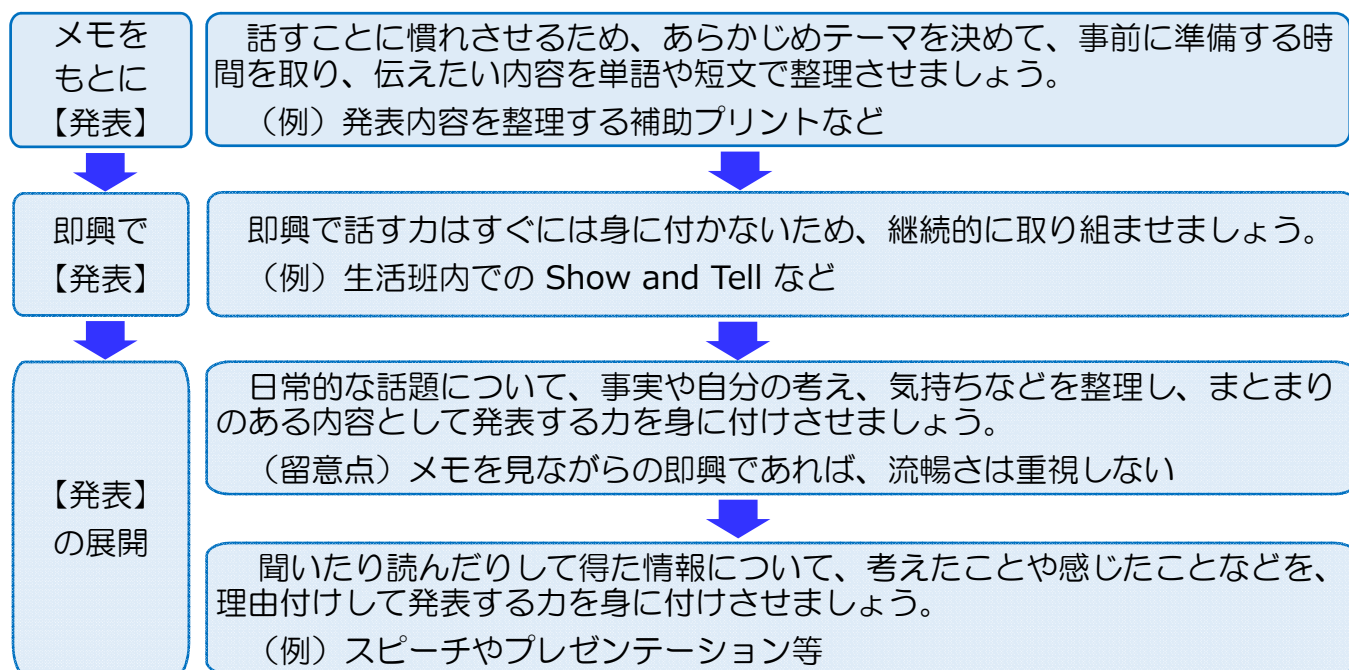
Point 3：技能を統合した授業を行いましょう！

友達とのやり取りの中で得た情報や、考えたこと、気付いたことなどを記述することで、書く活動にもつながります。



簡単な語彙や文を用いて、意見や考えを発表させる

まずは生徒にとって興味・関心のある話題を取り上げ、即興で自分の意見を短文で表現させる取組から始め、その後、理由付けをして発表したり、自分の調べた内容や考えなどをまとめて発表するなど、発表の仕方を広げさせましょう。



Speaking 【発表】 指導改善の ポイント



Point 1：即興で話す力を高めていきましょう！

やり取りとも共通することですが、自分の知っている語彙や文法を使って、即興で話すことに慣れさせることは重要です。その場で感じたことや、考えたことなどを発信できるよう、ペアワークやグループワークでしっかり練習させましょう。

Point 2：相手に伝えることを意識させましょう！

メモや図表、プレゼンなどを頼りに、自分の考えや感じたこと、その理由などを発表することは、自分の伝えたい内容を相手に分かりやすく話すということです。そのためには、発表の内容だけでなく、順序、展開、構成などを考える必要があります。また、生徒に発表の手順などを示すことも大切です。

Point 3：技能を統合した授業を行いましょう！

発表したことについて、友達から質問を受けることで、聞く活動、さらには話す活動【やり取り】につながります。

また、発表した内容をさらに調べて書きまとめることで、内容を深めることにつながります。

GTEC における Speaking の問題【15分程度】

- ☆ Part A から Part D まで4分野4種類の問題が出題される。
- ☆ Speakingテストは対面形式の実施ではなく、イヤフォンを装着し、タブレット端末に自分の解答を吹き込み、ネイティブが採点。

【Part A】 音読問題

- ・状況や英文を理解した上で、正確な発音で音読できるかどうかを測定

【Part B】 質問を聞いて応答する問題

- ・図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力があるかどうかを測定

【Part C】 ストーリーを英語で話す問題

- ・話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力を測定

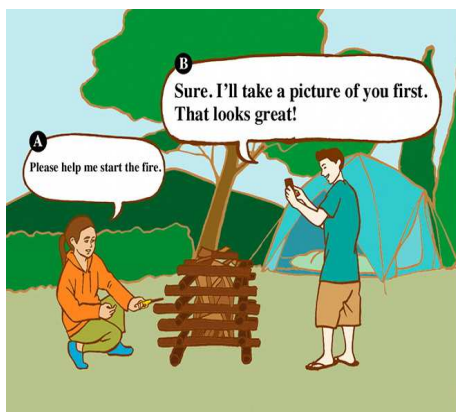
【Part D】 自分の意見を述べる問題

- ・自分の意見とその意見についての理由を言えているかを測定

出題例

ベネッセコーポレーション GTECサンプル問題より

Part A は全部で6問あります。
あなたは画面に表示されているBの英文を音読してください。



Part B は全部で4問です。
与えられた情報をもとに、質問に対して英語で答えてください。

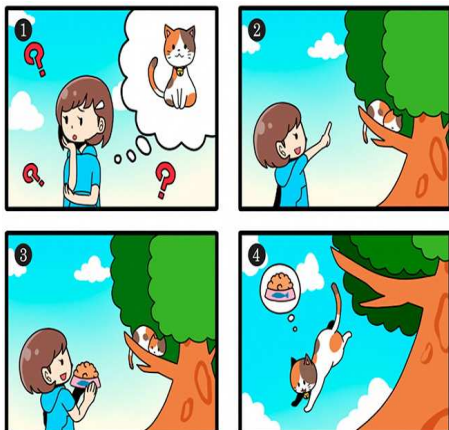


あなたは映画館に来ています。
画面上の英語の時刻表をもとに、英語で答えてください。

What time is the last show?
You : _____

※実際の問題では質問の英文は画面に表示されません
(音声のみ)

Part C は4コマイラストの問題です。
画面に表示された1コマめから4コマめのイラストについて、ストーリーを英語で話してください。



画面のイラストは今朝あなたに起こった出来事です。あなたが登場人物(=女の子)になったつもりで、起こった出来事について英語で説明してください。

Part D では、ある質問に対して自分の考えとそう考える理由を英語で述べてください。

Which is your favorite school subject?
Choose one and explain why?



【玉野市全7中学校での取組】

質問 1

1 Is this <u>your racket</u> ?	これは <u>あなたのラケット</u> ですか。
2 Are you a teacher?	あなたは <u>先生</u> ですか。
3 Are you in <u>3-C</u> ?	あなたは <u>3-C</u> にいますか。
4 Are you <u>watching TV</u> ?	あなたは <u>テレビを見て</u> いますか。
5 Do you <u>have a dog</u> ?	犬を <u>飼って</u> いますか。
6 Did you <u>play tennis</u> ?	<u>テニス</u> をしましたか。
7 Can you <u>play tennis</u> ?	<u>テニス</u> をすることができますか。
8 How can I get to <u>Miyama Park</u> ?	<u>深山公園</u> にはどうやって行ったらいいですか。
9 Was <u>the game exciting</u> ?	<u>試合</u> はわくわくしましたか。
10 Why do you <u>like Naomi</u> ?	なぜ <u>ナオミ</u> が <u>好き</u> ですか。
11 Will it be <u>sunny tomorrow</u> ?	<u>明日晴れる</u> でしょうか。

県内における事例紹介①
Speaking【やり取り】の指導

【しゃべプリ007】

- ※ 平成26年度に玉野市の英語科教員が、表現の定着を目的に作成。
- ※ 授業の始めに活用し、質問に即興で答えることに慣れさせる。
- ※ 全学年の教科書に出てくる質問文が英文と日本語で掲載されているが、答えは生徒自身で考えて答える。
- ※ 下線部を変えることにより、様々な質問が可能になる。
- ※ 各校においてアレンジ可能。

【鏡野町立鏡野中学校の取組】

① Hi, how are you? I'm fine too. Thank you.	① I'm fine, thank you. And you?
② I hear that you are studying English.	② Yes, I am.
③ Is it easy for you to learn English?	③ No, it's not. It's difficult for me.
④ Do you know how to say "ika" in English?	④ Yes, I do. It's "squid".
⑤ What sport do you play?	⑤ I play soccer.
⑥ Is it fun for you to play soccer?	⑥ Of course.
⑦ Do you want to be a soccer player?	⑦ No, I don't.
⑧ What do you want to be?	⑧ I want to be a P.E. teacher.
⑨ What are you looking for?	⑨ I'm looking for my book.
⑩ Do you want me to look for your book?	⑩ Yes, thank you.
⑪ Tell me where to look for?	⑪ Please look in the locker.
⑫ Thanks for talking.	⑫ My pleasure.

☆ ひとくち英語を入れて言ってみよう！

- | | |
|--|---|
| ☐ Tell me more. (もっとおしえて) | ☐ How about you? (あなたはどうぞ) |
| ☐ Me too. (私も) | ☐ Nice. (すてき) |
| ☐ You too? (あなたも?) | ☐ I think so too. (私もそう思う) |
| ☐ Good question. (いい質問だね) | ☐ No kidding. (冗談でしょ) |

◎よくできた ○まあまあ △まだまだ

項目									
① 相手の目を見て言えましたか									
② 大きな声で言えましたか									
③ すらすらと答えるようになりましたか									
④ ひとくち英語が使えましたか									

県内における事例紹介②
Speaking【やり取り】の指導

【すらすら英会話】

- ※ 表現の定着を目的に作成。
- ※ 授業開始の5分間で使用し、対話表現を覚えさせる。
- ※ 単元で学習する新出文法と重要表現に加え、既習表現も扱う。
- ※ 質問に対する答え方も示しているが、他の表現方法については授業の中で指導している。

- ※ 一問一答にならないよう、会話を発展させるための表現も示している。

- ※ 生徒は毎時間振り返りをする。

☆ 生徒が活動に慣れてくれば、キーワードのみを示したプリントに変更することで、読む（見て言う）活動から、話す（考えて表現する）活動にレベルアップすることができます。

③ Reading

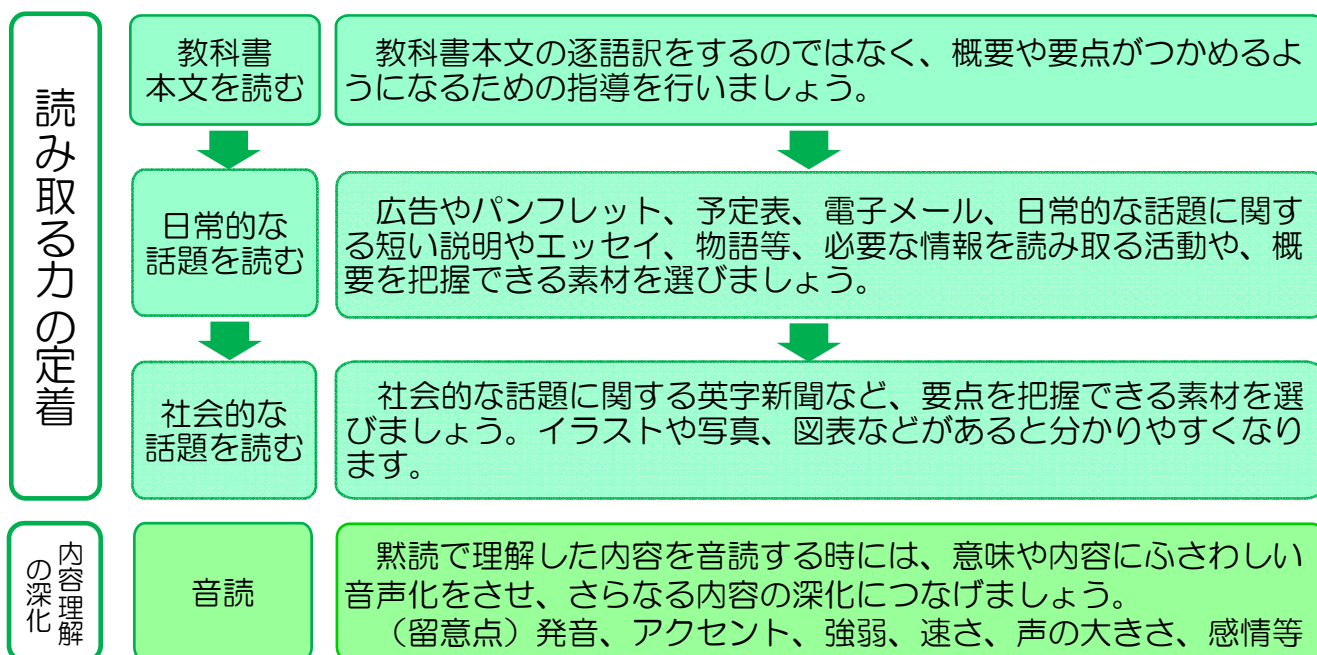
Readingでは、限られた時間内に長文全体の概要を把握する力や、必要な情報を正確に読み取る力が求められます。



情報・概要・要点などを読み取らせる

まずは教科書本文を繰り返し丁寧に扱い、概要把握や、必要な情報を読み取る力を身に付けさせ、音読においては、文の区切りを意識した読みの練習を行いましょう。

また、読むことへの抵抗感を減らすことが必要なため、簡単な語句や文で書かれた生徒にとって身近な素材を選び、徐々に分量を増やして読み取ることに慣れさせましょう。



調査結果を
基にした
指導改善の
ポイント

Point 1：教科書以外の文も読ませましょう！

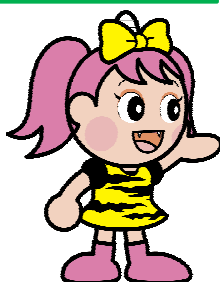
2つの調査から、教科書以外の初見の文や、まとまった量の英文を読むことに慣れておらず、概要や要点を読み取ることや、必要な情報を引き出すなど、読む目的を意識することに課題があると考えられます。読んで理解できたという自信を持たせることが重要であり、まずは簡単な素材から始め、次第に分量を増やしていきましょう。

Point 2：読むことに慣れさせましょう！

限られた時間内に文章全体の概要を把握する力も求められるため、時間を決めて読み取りができるよう指導することも大切です。

Point 3：技能を統合した授業を行いましょう！

読んで理解したことを基に話したり書いたりする活動を行うことが必要です。例えば、エッセイや物語を読んだ感想などについて発表するなど、話す活動につなげることもできます。



GTEC における Reading の問題【32分】

☆ Part A から Part C まで3分野4種類の問題が出題される。

【 Part A 】 **語彙・語法問題（＝語彙語法の力）**

- ・前後の文脈のつながりを理解し、かつ文法的に、また語彙選択上最も適当な表現を正確に判断できる力を測定

【 Part B 】 **概要把握問題（＝読みの速さ）**

- ・英語の新聞や雑誌の記事を読むことをイメージしながら、短時間で全体の概要を理解する力を測定

情報検索問題（＝読みの速さ）

- ・英語の広告や案内などを読むことをイメージしながら、短時間で必要な情報（知りたい情報）を素早く引き出す力を測定

【 Part C 】 **要点理解問題（＝読みの確かさ）**

- ・英語の論説文や物語文などを読むことをイメージしながら、まとまった量の英文に対して、英文の主旨に関する内容や詳細部分の要点について、英文を理解し、必要な情報を読み取る力を測定

出題例 【 Part B 】 **概要把握問題** ベネッセコーポレーション GTECサンプル問題より

本文と質問を読んで、答えとなる考えや情報を素早く探し、最も適当なものを【A】～【D】の中から1つ選びなさい。

Why does the food on TV look so good? The people who try to sell us food on TV use many "tricks" to dress up food. They are called "food stylists". For example, car oil is used to make meat shine, and often the "food" is not even real. Food stylists make food look more delicious, but it's usually not safe to eat.

これは何についての記事ですか？

- 【A】 Food stylists.
- 【B】 A good dinner.
- 【C】 How to cook.
- 【D】 Wearing a dress.

出題例 【 Part B 】 **情報検索問題** ベネッセコーポレーション GTECサンプル問題より

Good Time Tours

Good Time Tours has many fun tours in the Wilson City area!

Tour 1

Enjoy hiking outside in the area around Mount Alvin.

Mondays to Thursdays: 12:00 noon - 4:00 pm
Fridays to Sundays: 1:00 pm - 5:00 pm
Price for each person: \$20

Tour 2

Spend some time learning about history at the Knight's Museum.

Mondays to Thursdays: 10:00 am - 1:00 pm
Fridays to Sundays: 11:00 am - 2:00 pm
Price for each person: \$15

Special Deal!

Pay \$5 more and you can get a boxed lunch with any of the tours.

Tour 3

Find great prices at Little Penny's Shopping Village.

Mondays to Thursdays: 1:00 pm - 4:00 pm
Fridays to Sundays: 2:00 pm - 5:00 pm
Price for each person: \$5

Tour 4

Have fun in the sun at beautiful Sandy Beach.

Mondays to Thursdays: 8:00 am - 12:00 noon
Fridays to Sundays: 10:00 am - 2:00 pm
Price for each person: \$10

For a good time, call Good Time Tours!
Tel. 555-321-3535

1. What time does the museum tour start on Saturdays?

【A】 10:00 am.
【B】 11:00 am.
【C】 1:00 am.
【D】 2:00 am.

2. How much is the tour to Sandy Beach and lunch for one person?

【A】 \$ 5.
【B】 \$ 10.
【C】 \$ 15.
【D】 \$ 20.

【倉敷市立真備中学校の取組】

生徒に初見の文を読ませる際、ペアワークなどで二人で読み進め、概要把握した内容を確認し合う活動を取り入れています。また、グループごとに異なる素材を与え、グループ内で概要の把握・確認を行った上で、別のグループの生徒とペアを組み、相手に話の概要を簡潔に伝える活動も効果的です。このような活動は、内容を大まかに捉えるトレーニングになりますし、生徒の初見の文への抵抗感を減らすことにもつながっています。

県内における事例紹介③ 読み取りの指導

【総社市立昭和中学校の取組】

- ※ 習熟度別に分けたプリントを作成し、生徒がコースを選択して音読に取り組む。
- ※ 教科書の本文を語句ごとに区切り、それぞれの語句の意味を表す日本語を英文法に合わせて示している。
- ※ 本文の和訳の確認も行っている。

県内における事例紹介④ 音読の指導

Lesson4 GET Part 1 (音読シート) ★エマのおばさんが日本にやってくるようになりました。★ ノートの p43 に貼りましょう。

私のおばさんは	知っている	日本は	〜で有名である	すし
My aunt	knows	Japan	is famous for	sushi
〜していませんか	提案する	いくつかの場所を		
Can you	suggest	any places?		
ええと	あります	いくつかの	すし店が	この町には
Well,	there are	several	sushi restaurants	in this town.
ありますか	それ (= すし店)	〜のある (一緒)	英語のメニュー	
Is there	one	with	an English menu?	
はい	あります。			
Yes,	there is.			
それは〜です	〜の前に	駅		
It's	in front of	the station.		
ありがとう。				
Thank you!				

★ B

○ ○ ○

【上段：Bコース】

生徒は英語の語句を見ながら音読できるようになっている。
その際、日本語でも意味の確認をしながら読み進めることができる。

私のおばさんは	知っている	日本は	〜で有名である	すし
My aunt	knows	Japan	is famous for	sushi
〜していませんか	提案する	いくつかの場所を		
Can you	suggest	any places?		
ええと	あります	いくつかの	すし店が	この町には
Well,	there are	several	sushi restaurants	in this town.
ありますか	それ (= すし店)	〜のある (一緒)	英語のメニュー	
Is there	one	with	an English menu?	
はい	あります。			
Yes,	there is.			
それは〜です	〜の前に	駅		
It's	in front of	the station.		
ありがとう。				
Thank you!				

★ A

○ ○ ○

音読は声に出して、繰り返す。A シートに是非チャレンジしてみよう。音読練習の後、A シートに英文が書けるかどうか try してみよう。

【下段：Aコース】

英語が記載されていないため、生徒は日本語の意味を手掛かりに、読み進めていく。

☆ 英文読解においては、英文を意味のまとまりとして捉えたり、返り読みをせず前から理解しながら読むスキルを身に付けさせたりすることを重視しており、意味のまとまりを意識させ、教師の範読について音読する活動を取り入れています。

④ Writing

Writingでは、自分の意見や考えをより分かりやすく伝えるために、まとまった文章を書いたり、理由付けをしたりする力が求められます。

最終的には音声言語以上に「正確さ」が求められる技能ですが、まずは「書く」ことに慣れる活動をしっかり取り入れましょう。



身に付けた語彙を活用して、表現させる

まずは文法の細かい間違いにとらわれすぎず、自分の伝えたいことを文にしてみることから始め、最終的には、文を整える力（正確に書く力）を身に付けさせましょう。

趣味、部活動、メール文作成等、生徒にとって関心のある事柄や身近な題材を設定するなど、書きたくなる工夫をすることが大切です。

例文を
参考に書く

教科書の本文や新出文型などを基に、まずは自分のことや身の回りのことについて書くことに慣れさせましょう。

（例）ワークシートで、穴埋めから徐々に文が書けるように

短文で書く

伝えたい内容を正確な英語で書くことができる力を身に付けさせましょう。

→ P.15 （例）趣味「釣りについて」参照

まとまりのある
文章を書く

文と文の順序や相互の関連に気を付けさせたり、内容について推敲させたりしながら、全体としてまとまりのある文章を書けるようにしましょう。

（例）「導入 - 本論 - 結論」や「主題 - 根拠や具体 - 主題の言い換えや要約」など、文章構成の特徴を意識させる等

調査結果を
基にした
指導改善の
ポイント

Point 1：書くことに慣れさせましょう！

GTECでは、無解答率が高く、書くことに慣れていない生徒が多いと考えられます。まずは文法の誤りやつづりの間違いにとらわれすぎず、伝えたいことを知っている語句を使用して表現する活動を取り入れ、書くことに慣れさせましょう。書くことに慣れるまでは、語群を示すなど、表現のヒントを示すことも大切です。

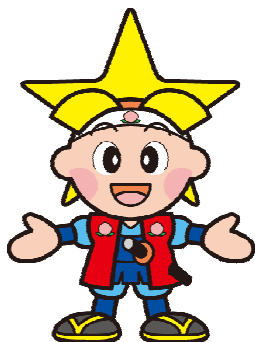
段階的に自分の考えや気持ち等を整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書く活動や、限られた時間の中で考え、書く作業を行う練習も取り入れましょう。3文日記などを取り入れて書かせることも効果的です。

Point 2：条件を付けた英作文に取り組ませましょう！

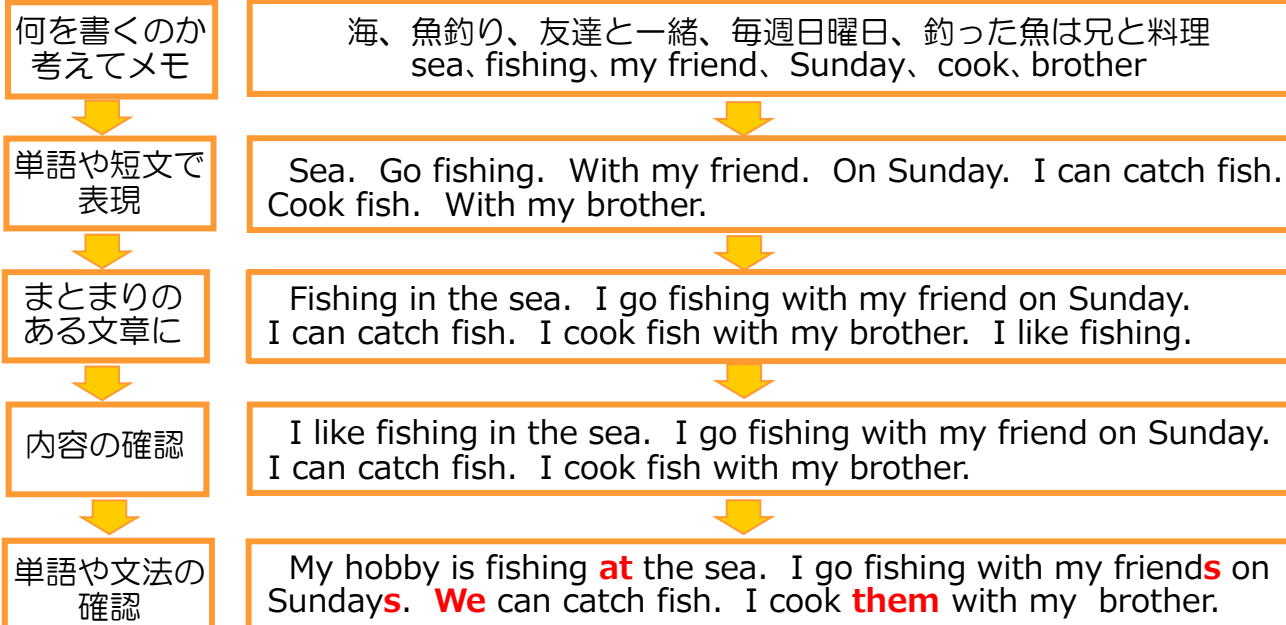
これまでの学力調査で、国語において、指定された長さで書くことや、理由を添えて書くことなど、条件付きの作文を書くことに課題があることが分かっていましたが、GTECにおいても同様の傾向が見られました。条件を付けた英作文に取り組ませるとともに、国語など他教科の教員と連携して「書くこと」を意識した言語活動の充実に取り組み、課題に対応することが大切です。

Point 3：技能を統合した授業を行いましょう！

聞いたり読んだりしたことについて自分の考えを書いたり、話す活動において発話したことを書いてまとめたりする活動を行うことが必要です。また、書いた英文を互いに読ませることで、読む活動につながります。



(例) 趣味 「釣りについて」



GTEC における Writing の問題【18分】

☆ 自由記述（フリーライティング）形式で1問が出題される。

- ・与えられたテーマに対して、自分の考えをできるだけたくさん書く。
- ・日常生活の中から、個人が経験したことを基に自分の意見と理由を書く。
- ・イラストは、具体例を書くための参考であり、イラストの内容を描写しても、自分の経験を書いても良い。

出題例

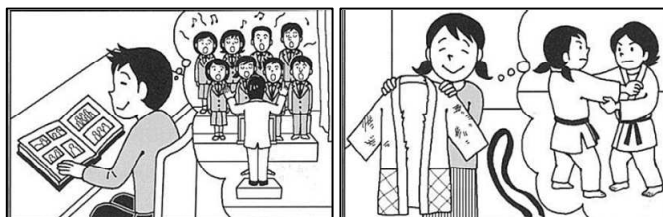
ベネッセコーポレーション GTEC サンプル問題より

あなたは授業中に英語でエッセーを提出することになりました。

〈参考〉

エッセーのテーマ

あなたの宝物は何ですか。1つ取り上げて、なぜそう思うのか理由を書きなさい。



玉野市立日比中学校の取組

県内における事例紹介⑤
「書く」意欲を高める指導

※ 生徒の「書く」意欲の向上を図るため、定期テストのWritingで、加点方式を採用している。

1 学期中間考査問題

5月に行ったチャレンジワークについて4文の英語で書きなさい。難しい単語のつづりや、まだ習っていない単語の間違ひは減点しません。正しい文につき2点で採点します。4文以上書いても構いません。1行に1文とします。ただし同じ動詞は1度しか使ってはいけません。（1文2点。最高8点。）

Ⅲ. 4技能をバランスよく育むための、 単元におけるCAN-DOリストの設定事例

【新見市全5中学校での取組】

※ 新見市では、学年ごとに分担し、単元ごとのCAN-DOチェックシートを作成し、それぞれの学校で活用。

※ このシートは新見市立新見第一中学校で使用したもの。

【新見市共通CAN-DOチェックシート】

Program 9 単元名 Education First : Malala's Story		Can-do Check Sheet				この単元できるようになったこと
単元末の自己評価	発表	メモなどを使って、マララの物語についての自分の感想を発表することができる。	1	2	3	④ 教科書にでてる、慣用表現を活用できた。
	話すこと	マララの活動について質問したり答えたりすることができる。	1	2	3	④ 遅れて、自分で意味を理解しながら、進められた。
	聞くこと	ゆっくり、はっきりと話される物語を聞いて、マララの活動やパキスタンの様子について理解できる。	1	2	③	4 目に見えないことを頭の中で考えられるようになった。
	読むこと	マララの活動やパキスタンの様子について大まかな内容を理解することができる。	1	2	3	④ 大切な部分だな、というのが自分でわかるようになった。
	書くこと	文中の表現や、以前学習した表現を使って、物語の内容を紹介したり、自分の感想を書くことができる。	1	2	3	④ 習ったことや知識を使い、自分の思いを英文にできた。
1時間ごとの自己評価	毎時間の振り返り (1:努力が必要 2:どちらかといえばできなかった 3:どちらかといえばできた 4:よくできた)					
	date	話す 発表	聞く	読む	書く	今日の感想・振り返り
	1/23	4	4			自分の思いを英語にして、相手に伝えることができた。
	1/25	3	1	4		いろいろな人の考えを英語で知れて共感することができた。
	2/5	4	1		4	自分がいつも日本語で話すのが難しいところを英語にできたと思う。

Sunshine English Course Program 9

単元の到達目標を示し、1単元終了時点で生徒は自己評価を行う。

毎時間ごとの振り返りを、その日行った項目について記入する。

【成果（教師）】

- ☆ 1単元を通して、生徒が何ができるようになるかを考えることで、実生活での使用場面を考えて指導計画を立てることができるようになりました。
- ☆ 生徒の評価を、指導改善に生かしやすいくなり、4技能のバランスを意識した指導につながっています。
- ☆ 1時間の到達目標を明確にすることで、教師自身、授業構成の工夫がしやすくなりました。

【成果（生徒）】

- ☆ 学習内容を実際の言語使用場面ですぐ生かせるのかという意識を持たせることで、コミュニケーション活動に、より意欲的に取り組めるようになってきました。
- ☆ 英語を使えるようになるには、4技能全てを伸ばしていくことが必要だと、意識してきています。

